

| | | | | |
|--|--|--|--|------|
| 群馬工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成31年度(2019年度) | 授業科目 | 論理回路 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 3J015 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 電子情報工学科 | 対象学年 | 3 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | ：例題で学ぶ論理回路設計：富川武彦：森北出版：4-627-82701-6：2年次購入済み | | | |
| 担当教員 | 木村 真也 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 1 表を用いた論理式の簡単化ができること。 2 組み合わせ回路を設計できること。 3 各種フリップフロップの動作を理解し、説明できること。 4 同期式順序回路の解析・設計ができること。 5 同期式順序回路を設計し、プログラマブル・ロジック・デバイス上に実装して動作確認できること。 | | | | |
| ルーブリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 到達目標 1 | 表を用いた論理式の簡単化が十分にできる | 表を用いた論理式の簡単化ができる | 表を用いた論理式の簡単化ができない | |
| 到達目標 2 | 組み合わせ回路を十分に設計できる | 組み合わせ回路を設計できる | 組み合わせ回路を設計できない | |
| 到達目標 3 | 各種フリップフロップの動作を十分に説明できる | 各種フリップフロップの動作を説明できる | 各種フリップフロップの動作を説明できない | |
| 到達目標 4 | 同期式順序回路の解析・設計が十分にできる | 同期式順序回路の解析・設計ができる | 同期式順序回路の解析・設計ができない | |
| 到達目標 5 | 同期式順序回路を設計し、プログラマブル・ロジック・デバイス上に実装して動作確認十分にできる | 同期式順序回路を設計し、プログラマブル・ロジック・デバイス上に実装して動作確認できる | 同期式順序回路を設計し、プログラマブル・ロジック・デバイス上に実装して動作確認できない | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 2年後期に引き続き、デジタル装置の回路の基本である論理回路について、組み合わせ回路の応用、同期式順序回路の解析と設計、非同期式順序回路の解析を解説する。 合わせて、設計した回路を論理回路実装システム上に実装して動作確認をおこなう。 この科目は4年次以降の大規模論理回路の設計・実装関連科目の基礎となるものである。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | <ul style="list-style-type: none"> 授業は講義と実習を交互に進めステップ・アップするスパイラル方式で行なう。 実習では、プログラマブル・ロジック・デバイスを使って設計した論理回路を実装・動作確認する。 使用する実験装置・ツール等は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 回路図エディタ(Xilinx ISE WebPack) 無償のソフトウェア・ツールで、自宅のパソコンにインストール可能 論理回路実習システム 授業時間外にも利用できる装置を用意しているので、自主的・積極的に学習を進めることが可能 自宅のパソコンに開発環境をインストールすれば、ネットワーク経由で回路の実装テストが可能 | | | |
| 注意点 | <ul style="list-style-type: none"> 本科目は単に座学で学習するだけでなく、実際に机上で設計した論理回路を実習ボード上に実装し、動作確認することで理論と現実のギャップを埋め、理解を深める。 予習の必要はないが、講義のときは集中しその時間内に理解するように心がけ、必ずノートをとること。 ノートを元に復習をしっかりと行い、教科書にある例題・問題を自分で解いてみることが重要。 再試験・再々試験に合格するためには、実習課題をやってレポートを提出していることが必須条件。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1週 | 表を用いた論理式の簡単化（1） | QM法で論理式の簡単化ができる | |
| | 2週 | 表を用いた論理式の簡単化（2） | QM法でドンケルケ条件がある論理式の簡単化ができる | |
| | 3週 | 基本組み合わせ回路（1） | デコーダ、エンコーダ、ブロードキャスト機能と基本回路の理解 | |
| | 4週 | 基本組み合わせ回路（1） | ブロードキャスト・エンコーダ、マルチプレクサ、コンバータ | |
| | 5週 | 基本組み合わせ回路（1） | ハーフアダルト、フルアダルト、並列加算器の回路機能と基本回路の理解 | |
| | 6週 | 実習 | 4ビット加算器の設計と実装テスト | |
| | 7週 | 実習 | 4ビット減算器の設計と実装テスト | |
| | 8週 | 中間試験 | | |
| 2ndQ | 9週 | 記憶回路の原理 | フィードバックによる記憶原理 | |
| | 10週 | フリップフロップ | RSフリップ・フロップ 同期式RSフリップ・フロップ | |
| | 11週 | フリップフロップ | Dフリップ・フロップ JKフリップ・フロップ Tフリップ・フロップ トリガ方式 | |
| | 12週 | フリップフロップの応用回路 | フリップ・フロップの相互代替回路 シフト・レジスタ | |
| | 13週 | 各種フリップ・フロップの動作確認 | N O R を用いた R S フリップ・フロップの動作確認 N A N D を用いた R S フリップ・フロップの動作確認 認 同期式RSフリップ・フロップの動作確認 | |

| | | | | |
|----|------|-----|-------------------------------------|--|
| | | 14週 | 各種フリップ・フロップの動作確認 シフトレジスタの動作確認と設計 | D. JK, Tフリップ・フロップの動作確認 エッジトリガ型によるシフトレジスタシフトレジスタ レベルトリガ型によるシフトレジスタの実装と動作確認 パラレル・イン・シリアル・アウト・レジスタ |
| | | 15週 | 期末試験 | |
| | | 16週 | 同期式順序回路の解析 | 解析手順 |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 同期式順序回路の解析 | 解析例 |
| | | 2週 | 同期式順序回路の設計 | 設計手順 |
| | | 3週 | 同期式順序回路の設計 | 設計例 |
| | | 4週 | 同期式順序回路の設計 | 設計例 |
| | | 5週 | 同期式順序回路の設計実習 | イネーブル付き同期式10進アップ・カウンタの設計 ・実装・動作確認 |
| | | 6週 | 同期式順序回路の設計実習 | ローダブル同期式10進ダウン・カウンタの設計・実装 ・動作確認 |
| | | 7週 | 同期式順序回路の設計実習 | ダイナミック点灯方式による2桁のローダブル同期式 10進ダウン・カウンタの設計・実装・動作確認 |
| | | 8週 | 中間試験 | |
| | 4thQ | 9週 | ゲートの遅延 | ゲートの遅延による影響 |
| | | 10週 | 非同期式順序回路の解析 | 非同期式順序回路の解析方法 |
| | | 11週 | 非同期式順序回路の解析 | RSフリップ・フロップの解析 |
| | | 12週 | 総合設計実習 | ストップ・ウォッチの設計と実装 |
| | | 13週 | 総合設計実習 | ストップ・ウォッチの設計と実装 |
| | | 14週 | 総合設計実習 | ストップ・ウォッチの設計と実装 |
| | | 15週 | 期末試験 | |
| | | 16週 | 答案返却 | |

評価割合

| | 試験 | 実習・レポート | 合計 |
|--------|----|---------|-----|
| 総合評価割合 | 76 | 24 | 100 |
| 基礎的能力 | 40 | 10 | 50 |
| 専門的能力 | 36 | 14 | 50 |